

## 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

## ②事業者情報

2024年3月14日

名称: 藤の実会きらめき	種別: 生活介護事業
代表者氏名: 齋藤 一平	定員(利用人数): 20 (16) 名
〒 359-0001	Tel 04-2941-2666
所在地: 埼玉県所沢市下富626-1	

## ③総評

## ◇特に評価の高い点

- 【中長期計画を踏まえた単年度の事業計画】**  
理念・基本方針の目指すところが中長期計画に織り込まれ、さらに中長期計画の重点テーマを単年度の事業計画に反映させることで、一貫性・連動性のある実行可能な事業計画になっています。単年度の事業計画は、昨年度の計画とその実績、そしてそれを踏まえての今年度の計画が一覧できるわかり易い書式になっており、その内容について年2回全職員の協議により評価され、次年度の計画策定に繋げる業務サイクルが回っています。
- 【人事評価制度をベースとした総合的人事管理】**  
期待する職員像が基本方針に記載されており、人事評価制度(キャリアパス制度)で目標水準・目標期限等が明確にされた職員個人の目標が設定され、中間面談を行う中で進捗状況をチェックし、年度末に職務遂行能力・成果・貢献度等が評価されています。昇進・昇格等の基準が明確に定められ、職員一人一人の育成に向けた総合的な人事管理が行われています。
- 【利用者の安全確保の取組】**  
事業継続計画(BCP)が策定されており、災害対応マニュアルも整備されています。災害に備え、年3回防災訓練を実施し、災害発生時の安否確認方法、連絡ルート等も決められています。食料、飲料水はもちろん、衛生用具、光熱源、排泄用具まで備蓄されており、施設内に浴室等の生活設備があり、宿泊が可能です。基本的には感染症や災害に伴う帰宅困難職員対応を想定していますが、災害状況によっては地域住民の利用も可能です。

## ◇特にコメントを要する点

- 【質の向上に向けての職員の自己評価の実施】**  
福祉サービスの質の向上に向け、サービス責任者連絡会等で虐待防止や事故報告・法令遵守・各種研修会等の様々な活動が行われていますが、職員の自己評価は行われておらず、そこからの課題の抽出・分析・改善策や改善計画の策定・改善の取組・実施状況の評価と見直し等も行われていません。職員の自己評価の取組を検討されては如何でしょうか。
- 【職員個人個人の研修計画】**  
法人として研修委員会があり、研修内容の企画や受講推奨等を行っています。事業計画の人材育成のテーマの中で研修計画を策定していますが、研修プログラムのみの計画となっており、職員個人個人の受講計画がありません。研修計画に、職員の誰が、いつ、どの研修を受講するのかという具体的な計画を織り込まれた方が良いのではないかと感じます。
- 【実習生・ボランティアの受入れ】**  
実習生、ボランティアに関しましては、どちらも基本的には受け入れる方針ですが、明文化はされてなく、受入・指導マニュアルもありません。社会的養護関係施設とは違い、指導員は実習生を指導するための研修を義務付けられていませんので、将来的な人材確保という観点からも、実習生やボランティアの積極的な受入れを進められては如何でしょうか。

## ④第三者評価結果に対する事業者のコメント

- ・事業運営が開始し、初の受審となったが、客観的な視点から運営を見直すことができた。
- ・事業所の社会的役割を果たすとともに、利用者本位の支援の質の向上を目指したい。
- ・働きやすく、やりがいのもてる職場づくりに努め、マンパワーによる支援の質の向上を目指したい。
- ・今後も利用者、職員、地域の声を大切にし、課題を真摯に受け止めていきたい。

## ⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙